

1. 名称：

International Symposium for Female Researchers in Chromatin Biology 2020

2. 趣旨：

2020年12月5-6日（土曜・日曜）に国際シンポジウム「International Symposium for Female Researchers in Chromatin Biology 2020」を理化学研究所・生命機能科学研究センターにて開催します。

真核生物では、遺伝情報の本体であるゲノム DNA は、複雑に折り畳まれクロマチンと呼ばれる構造で細胞核内に収められています。このクロマチンは遺伝子発現調節の根幹であり、細胞の発生分化過程や疾患でダイナミックに変化します。従ってクロマチン生物学分野は、基礎研究だけでなく再生医療や医薬品開発、遺伝子工学を用いた農業・食品産業への応用発展が強く期待されています。

医薬品や食品といったキーワードから連想されるとおり、クロマチン生物学分野は女性にも関心が高い研究分野で、実際欧米では多くの女性研究者が世界の第一線に立って活躍しています。日本でも当分野の女性研究者割合は比較的多いものの、その国際的認知度は低迷を続けています。その原因として、我が国における女性の社会進出の遅れ（教授や管理職に就く女性の少なさ）、家事・育児負担の女性偏重、地理的な不便さによる国際学会・コミュニティへの参加頻度の低さなどが挙げられます。

このような日本における社会的の構造的問題を打開し、日本の女性研究者の国際的プレゼンスを高めることが必要です。我々は、2019年6月に、本邦初となるクロマチン生物学分野の“女性だけ”の国際シンポジウム「International Symposium for Female Researchers in Chromatin Biology (ISFRCB) 2019」を開催しました。これには欧州各国の教授職、研究所長を務める著名な女性研究者が自らボランティアとして集結し、科学的な講演のみならず、キャリアパスセミナーを実施し、日本の女性研究者を応援・鼓舞する非常に稀な機会となりました。

ISFRCB2019 では、将来研究室の主宰者を目指す男女若手研究者を対象に、欧州分子生物学研究所 EMBO による「研究室運営（ラボマネージメント）」に関するコースも開催しました。これらの画期的な取組みは EMBO 誌や欧州著名研究所のウェブサイトでも紹介され、国内外からの大きな反響とともに、第2回目の ISFRCB 開催を切望する声があがりました。

つきましてはこの度下記の要領で、**ISFRCB 2020** の開催を決定しましたことをご案内いたします。

なお本会は、2020年12月2-4日に神戸で開催される第43回日本分子生物学会年会 [会長：上村匡先生（京都大学）] の公式サテライトシンポジウムとして認定されており、同じ神戸において、第43回日本分子生物学会年会に引き12月5-6日に開催いたします。

3. 開催概要：

- 1) 会議名称：International Symposium for Female Researchers in Chromatin Biology 2020
- 2) ホームページ：<https://wisj2019.wixsite.com/wisj/isfrcb2020>
【参考】第43回分子生物学会年会 ISFRCB 紹介ページ
<https://www2.aeplan.co.jp/mbsj2020/english/satellite/index.html>
【参考】ISFRCB2019 ホームページ
<http://www.nibb.ac.jp/potentia/ISFRCB2019/index.html>
- 3) 会期：2020年12月5-6日(土・日曜)
- 4) 主催：Women in Science Japan (WiSJ) (<https://wisj2019.wixsite.com/wisj>)
- 5) 共催：
 - ・新学術領域研究「遺伝子制御の基盤となるクロマチンポテンシャル」(領域代表：木村宏)
 - ・第43回日本分子生物学会年会(学会長：阿形清和、年会長：上村匡)
 - ・理化学研究所
 - ・大阪大学蛋白質研究所(蛋白研セミナーとして)
- 6) 会場：(独)理化学研究所生命機能科学研究センター(理研 BDR)
神戸 発生・再生研究棟 C オーディトリウム
〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-2-3
- 7) 参加予定人数：約150名
- 8) 使用言語：英語
- 9) オーガナイザー：
 - Susan Gasser (FMI, Switzerland)
 - 加納 純子(大阪大学、東京大学)
 - 多田 政子(東邦大学)
 - 平谷 伊智朗(理研 BDR)
 - 岡田 由紀(東京大学)
- 10) プログラム・運営委員：
 - 大杉 美穂(東京大学)
 - 斉藤 典子(がん研究所)
 - 浦 聖恵(千葉大学)
 - 安原 徳子(日本大学)
 - 荒川 聡子(東京医科歯科大)
- 11) 海外招待講演者
 - Geneviève Almouzni (Director, Institut Curie, France)
 - Susan Gasser (Director, FMI, Switzerland)
 - Daniela Rhodes (Director, Nanyang Technology University, Singapore)
 - Petra Hajkova (Imperial College London, UK)
 - Irina Solovei (Ludwig-Maximilians University, München)

12) プログラム (暫定案)

12月5日 (土)

午前 女性クロマチン研究者による先端的研究セミナー

午後1 EMBO ジャーナルエディターによる論文発表のコース (参加型)

午後2 EMBO 講師によるラボ運営コース (少人数参加型セミナー) 前半

12月6日 (日)

午前 EMBO 講師によるラボ運営コース (少人数参加型セミナー) 後半

13) 第43回日本分子生物学会年会関連企画

12月3日 (木)

第43回分子生物学会ワークショップ

「女性研究者の活躍がクロマチンのように生物学の最前線に広がることを目指して」

(オーガナイザー: 加納純子、岡田由紀)

12月3日 (木) 第43回分子生物学会フォーラム

EMBO ジャーナルエディターによる論文発表のコース (ハンズ・オン型)

(オーガナイザー: 多田政子、斉藤典子)

企業様に協賛をお願いする理由

本会は、我が国の社会的事情により国際シンポジウムに参加する機会が諸外国に比べて圧倒的に少ないとされる日本人女性研究者の国際的プレゼンスを高めること、またそのためにPI(研究室主宰者)としてのグローバルスタンダードをEMBOコースの受講を通して学ぶことを二大目的としています。その結果、ロールモデルとなる海外有名研究者や、EMBO講師の招聘に多くの費用が必要です。しかし、大学院生や博士研究員など若い世代の参加を促すために参加費を極力低く抑えたいことから、全体的に経費不足しています。本会の先駆的かつ実質的な位置付けを鑑みると、予算面の問題で規模の縮小を検討するよりは、企業様のお力添えを得て社会的に発信力のある企画を実現したいと考えています。

本会は神戸会議場で開催される第43回分子生物学会年会の翌日・翌々日に、同じく神戸の理研BDRで開催します。国際会議場と理研BDRは僅か1kmの距離にあります。従って、特に第43回分子生物学会にブース出展を予定されている企業様におかれましては、分子生物学会年会の終了後にそのままブースを移動していただけることを期待しております。

諸団体、諸企業からの浄財は、準備、運営にかかる費用に充当させていただきます。

お問い合わせ先:

ISFRCB2020 事務局

〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学 定量生命科学研究所

担当 岡田 由紀 (病態発生制御研究分野長)

Tel:03-5841-7831 Email: wisj.2019@gmail.com

協賛募集要項

1. 募集対象：

- A. 企業展示募集
- B. 抄録集広告掲載募集
- C. 寄付金募集

2. 要項：

- 1) 日程： 2020年12月5-6日(土-日)
- 2) 会場： (独)理化学研究所 生命機能科学研究センター
神戸 発生・再生研究棟 C オーディトリウム
- 3) 協賛金：

A. 企業展示	100,000 円
B. 抄録集広告	50,000 円
C. 寄付金	50,000 円 (一口)

3. 募集内容

A. 企業展示募集：

- 1) 出展内容： 玄関ブースでの出展、展示机1本、バックパネル1台
(社名表示は各社でご用意ください)。
- 2) 募集小間数： 最大5小間。多数の応募があった場合は、先着順とさせていただきます。
- 3) 展示日程(予定)：

搬入 12月5日(土) 8:00~9:00 (※¹)

展示 12月5日(土) 9:00~18:00

搬出 12月6日(日) 11:00以降

※¹搬入、搬出時間相談可。特に分子生物学会年会から直接ブースを移設される場合はご相談ください。上記展示時間は最大展示時間、実際の展示時間は各社判断。宅急便による展示品搬入は12月3日(木)到着分まで受取対応可。

- 4) 特典： ホームページでの社名表示

抄録集の進呈

抄録集への広告掲載(※²)

会期中、会場内スクリーンやモニターで社名・広告表示(※³)

※²抄録集への広告掲載を希望される場合は、原稿を完全データもしくは完全版下を2020年10月23日(金)までにEメールもしくは郵送にてお送りください。

※³スクリーンやモニターでの社名・ロゴ・広告表示を希望される場合は、データを2020年11月13日(金)までにEメールにてお送りください(PDF、JPEG、PPT対応可、他フォーマットやファイルサイズが大きい場合は事前にご相談ください)。

B. 抄録集広告掲載募集：

- 1) 印刷部数： 150部(予定)
- 2) 配布予定者： International Symposium for Female Researchers in Chromatin Biology
2020参加者 約150名
- 3) 体裁： A4サイズ、オフセット印刷 約20ページ
- 4) 広告言語： 英語、日本語どちらでも可
- 5) 原稿： 完全データもしくは完全版下をE-mailか郵送にて2020年10月23日(金)までにご送付ください。
- 6) 特典：
 - ・ホームページでの社名表示
 - ・抄録集の進呈

C. 寄付金募集：

- 1) 特典：
・ ホームページでの社名表示
・ 抄録集の進呈

4. お申込方法：

2020年10月23日(金)までに、申込用紙に必要事項をご記入の上、E-mailにてISFRCB2020事務局 (wisj.2019@gmail.com)までファイル添付でお送りください。

5. お振込み先：

ゆうちょ銀行 口座番号：記号 10190 番号：88269581
口座名義：ウーマン イン サイエンス ジャパン

他金融機関からの振込の際は、下記をご指定ください。

店名：〇一八 (読み ゼロイチハチ)

店番：018

預金種目：普通預金

口座番号：8826958

口座名義：ウーマン イン サイエンス ジャパン

6. 振込期日：

2020年11月13日(金)までにご入金ください。恐れ入りますが振込手数料のご負担をお願い申し上げます。

7. その他：

お申込書のご提出以後は、不可抗力と判断できる事項以外に原則取り消しはできませんので、予めご了承ください。

以上

ISFRCB 2020 (2020年12月5-6日) 企業様 協賛お申込み日程表			
協賛形態	<input type="checkbox"/> A. 企業展示	<input type="checkbox"/> B. 抄録集広告掲載	<input type="checkbox"/> C. 寄附金
協賛金額	100,000 円	50,000 円	50,000 円 (一口)
申込期日	2020年10月23日(金)		
抄録集広告掲載 データ送付	2020年10月23日(金)		
モニターでの社名・ロゴ ・広告掲載データ送付	2020年11月13日(金)		
振込期日	2020年11月13日(金)		

